

こども誰でも通園制度の実施結果について（令和6年度）

1 実績

当初、13施設（受入れ定員245名）を実施施設として指定し、利用者を募集（7/1利用開始分）したところ、受入れ定員を大幅に上回る424名から応募があった。そこで、実施施設の二次募集を行うとともに、改めて利用者募集を行い、最終的には以下のとおりとなった（利用者募集は、10/1、11/1及び12/1利用開始分を含め、計4回実施）。

(1) 実施施設数等

施設類型	実施施設数	受入れ定員	申込者	選定者
幼稚園	7施設	126名	121名	92名(※1)
認定こども園	13施設	143名	250名	143名
小規模保育	12施設	151名	282名	154名(※2)
保育園	8施設	99名	149名	96名(※1)
合計	40施設	519名	802名	485名

※1 選定者数が申込者数や受入れ定員を下回っている理由は、利用者の希望する園が一部の園に集中したため

※2 選定者数が受入れ定員を上回っている理由は、選定したものの利用意思がなかった方が含まれるため

(2) 利用状況

総 利 用 時 間：13,513時間

1人1箇月当たり平均利用時間：7.2時間

1回あたり平均利用時間：2.9時間

2 利用者等へのアンケート結果

(1) 目的

令和8年度からの本格実施を見据え、未就園児世帯のニーズや保育現場における課題等をしっかりと把握し、円滑な本格実施につなげる。

(2) 集計期間

令和6年7月～令和7年3月

(3) アンケート実施方法

本制度を利用者が初めて利用される際、利用者に専用フォームにアクセスできる二次元コードを渡し、回答を選択する質問を中心としたアンケートの協力を依頼するとともに、随時御意見をいただけるよう、自由記載のアンケートも併せて依頼。また、実施施設に対しては、令和6年度の実施を踏まえた所見や課題等の回答を、4月中に提出するよう依頼。

(4) アンケート結果 (概要)

ア 利用者回答数

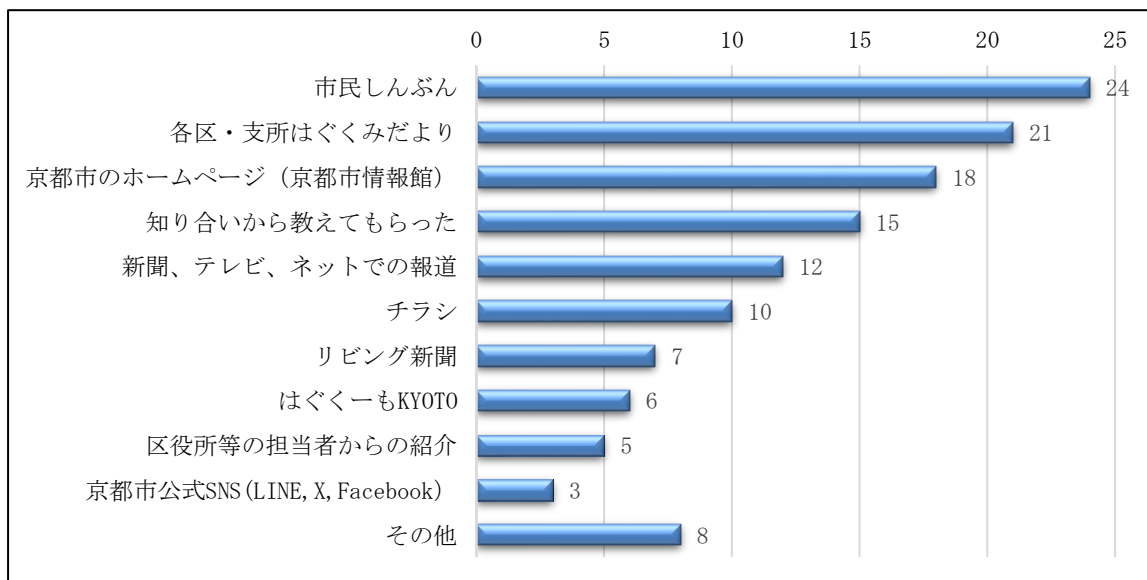
選択回答：84件

自由記載：29件

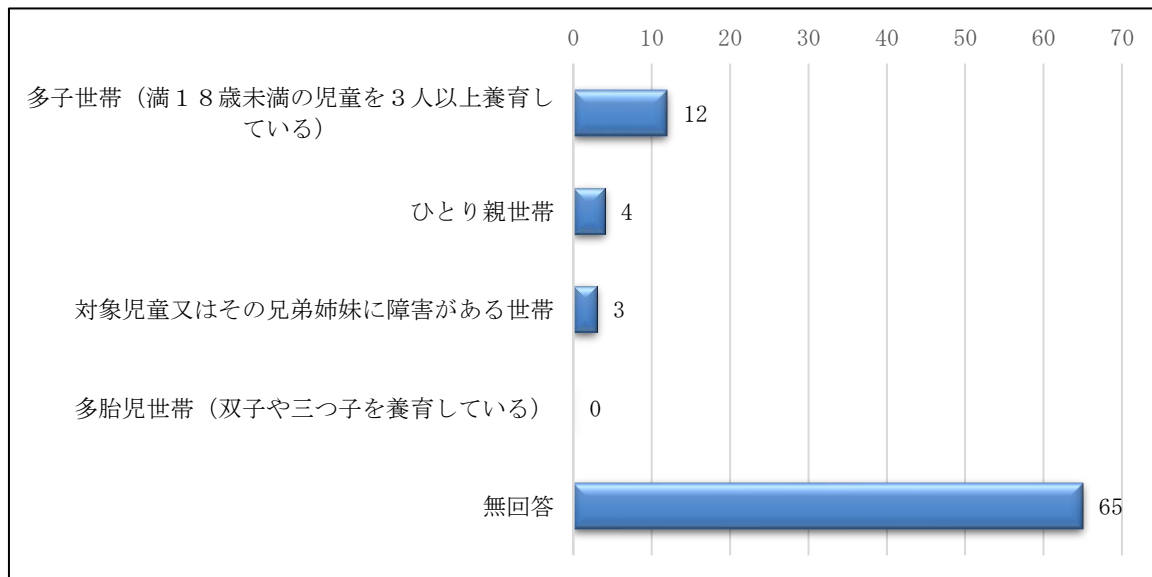
イ 利用者回答内容

(ア) 選択回答

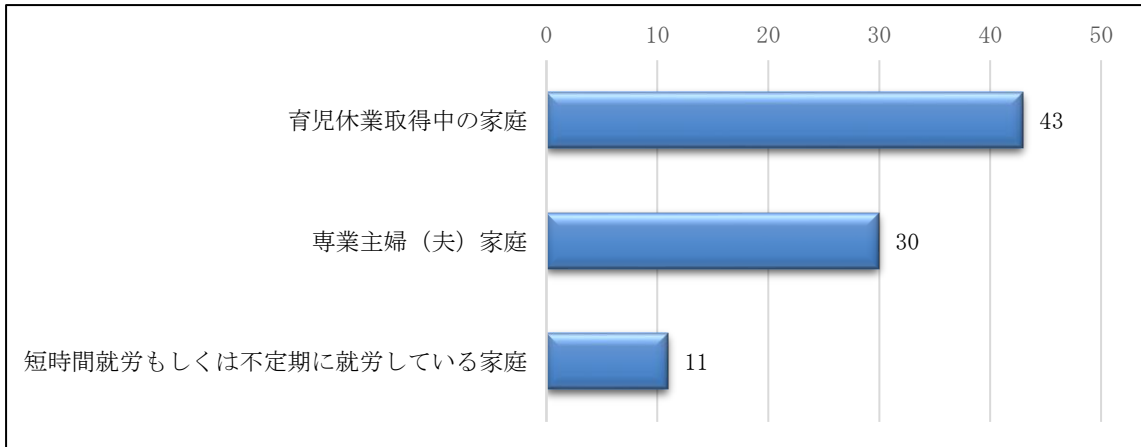
① 本制度を知った方法 (複数回答可)



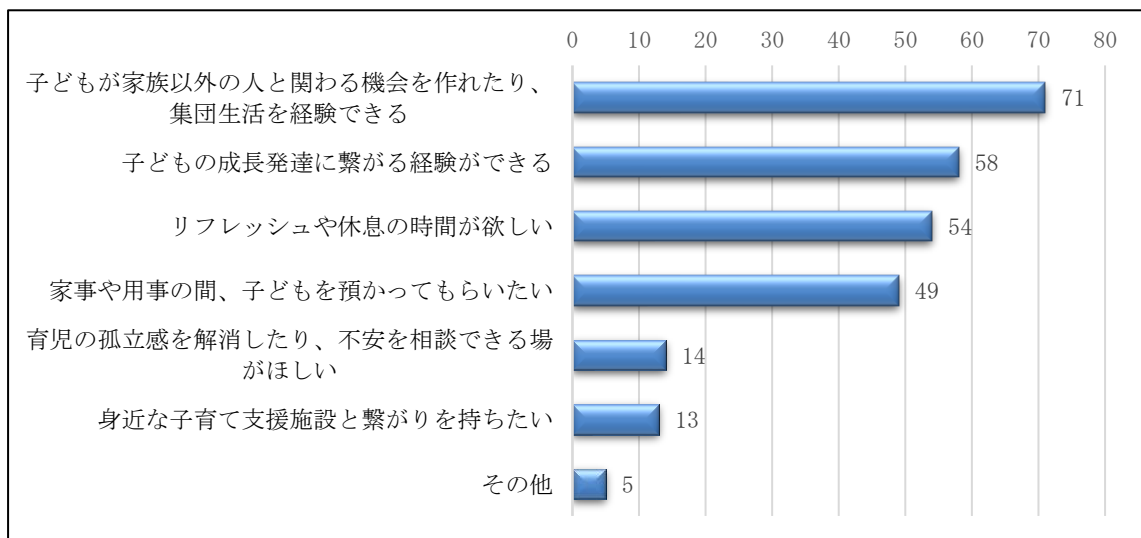
② 家庭の状況 (複数回答可)



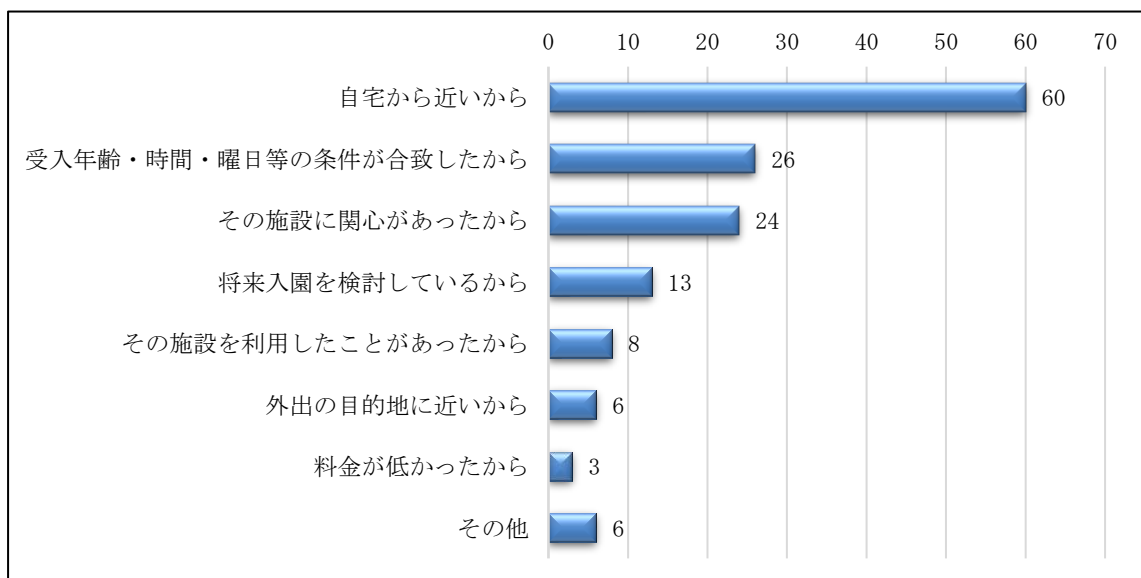
③ 就労状況（複数回答可）



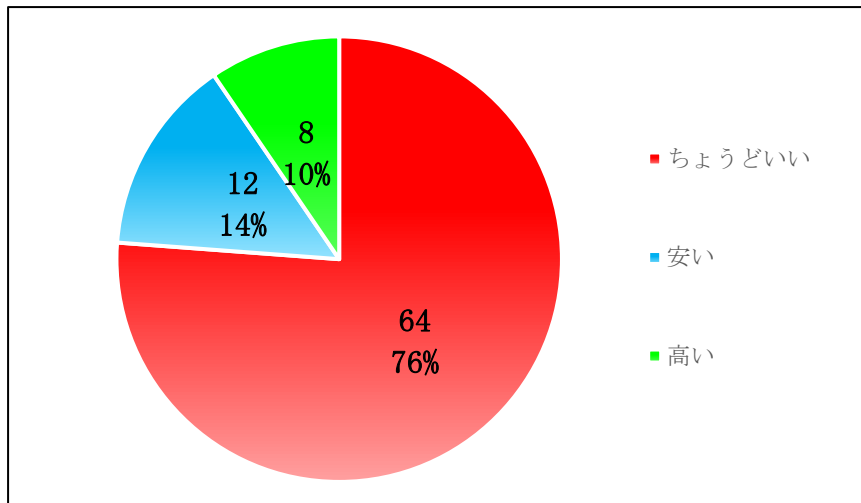
④ 本制度の利用目的（複数回答可）



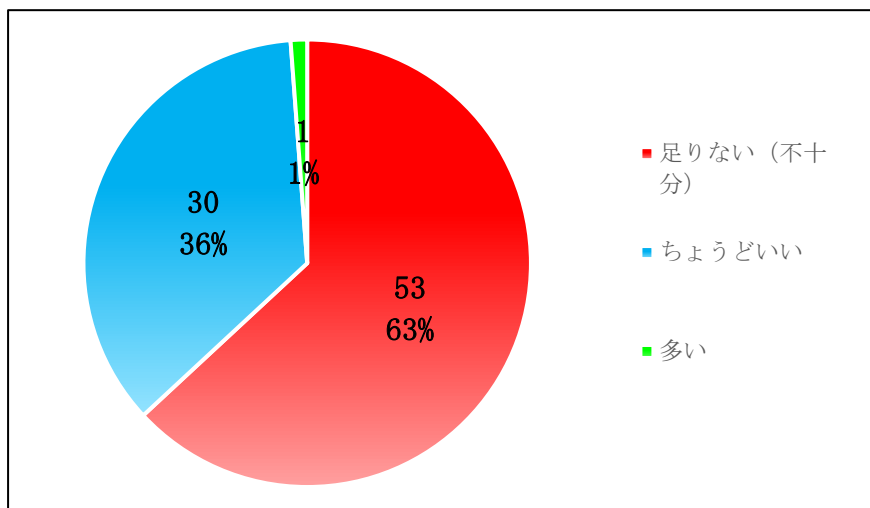
⑤ 当該施設を選択した目的（複数回答可）



⑥ 利用料（上限300円）



⑦ 利用時間（10時間／月）



(イ) 自由記載（主な意見を抜粋）

① 子どもの様子

- ・ 同い年の友達が良い刺激となり、大人との関わりでは得られないものを感じていた
- ・ 集団生活やルールがあることを学ぶことができた
- ・ 最初は泣いていたが、慣れれば楽しそうにしていた
- ・ お友達と一緒に給食を食べたらおかわりをした
- ・ 自立心が芽生えた
- ・ 座って食べる、自分より小さな子に優しくするなど、できることが増えた

② 保護者の状況

- ・ 同い年の子を見て、我が子を客観的に見ることができた
- ・ 子どもの成長を一緒に守ってくれる場所があるのは有難い
- ・ 自宅でもできる遊びを知ることができた
- ・ 園の雰囲気を知ることができた
- ・ リフレッシュすることができ、精神的余裕ができた

- ・ 空いた時間を有意義に過ごすことができた

③ その他

- ・ 先生が優しく、子どもが馴染みやすい環境である
- ・ 園や保育士の邪魔をしている気がした
- ・ 利用時間を増やしてほしい
- ・ 1回の利用時間を長くしてほしい
- ・ 支払いを電子決済でもできるようにしてほしい
- ・ 給食も食べさせてほしい
- ・ もっと多くの施設で利用できるようにしてほしい

ウ 実施施設回答内容（主な意見を抜粋、令和7年4月末時点）

- ・ 利用する児童が園や在園児に慣れ、楽しめており、やりがいを感じる
- ・ 最初は泣いていたが、徐々に笑顔もみられるようになった
- ・ 定期的な利用は、利用する児童が園に慣れやすいため、保育士の負担も少ない
- ・ 委託料（850円）を引き上げてほしい
- ・ 職員体制が厳しい
- ・ 1月の利用時間（10時間）を増やしてほしい